



町人研通信

2022年 8月 23日
No. 1353
能勢町人権教育研究会

差別の現実に深く学び、人権文化あふれる学級づくり・まちづくりをすすめましょう!

2022 町人研 夏季研

7月22日(金)、町人研夏季研を行いました。明石一朗さん(関西外国語大)をお招きし、「今、子どもの人権を考える～偏見や差別による中傷やいじめから子どもを守るために～」と題したお話を伺いました。その後、6専門部に分かれ、「やってみよ!」の研究テーマをもとに、夏休み以降の実践を考え、交流しました。

参加者の中には、明石さんのお話をご自身の実践と重ね、自信としたり、反省したりした方が多くいらっしゃいました。日々、子どもと向き合っている証だと感じました。

コミュニケーションカードに示された姿勢にも学ぶところがたくさんあります。紹介します。

また、地域に根ざした部落問題学習についても示唆をいただき、資料もいただいています。興味のある方は事務局にお声がけください。

今年度もコロナ禍への対策が必要な時期の開催となりましたが、皆様のご理解ご協力のもと、集合開催できたことで大きな学びがありました。この規模で開催できる能勢町人研の強みです。日常から同じ子どもたちに向き合う関係性を大切に夏休み以降からの実践に生かしましょう。

コミュニケーションカードより

・楽しいことも悲しいことも言えるクラスは良いクラスというのが心に残りました。普段、マイナス発言を言うのはやめようと言っているのですが、ただのマイナスな発言ではなく、自分自身の失敗や過ちを正直に言えることはマイナスではなく、プラスだと思います。そういったことを正直に話せる教室を築いていきたいと思いました。

・話がおもしろかったです。チアキさんとマサトさん、たっくんの話…ステキな話だと思いました。いろんなことを3つでまとめることで、やるべきこと、考えることがうまく整理できるんだと思いました。

差別・偏見には先入観、思い込み、無関心、それと変な仲間意識があるんだと改めて思いました。だから勉強で、本当の知識をもつことが大切だと思います。

うけもつ子の良い所をたくさんみつけ、背景もよく見ようと思います。全部よかったです。

・今日のお話を聞いて、「子どもが学校に来ているのが当たり前」なのではなく、一人ひとりが様々なバックグラウンドをもちながら、なんとか来ているのかもしれないという想像力をもつことや、そこに理解を示したり、決めつけたりしないことが大事だと感じた。

具体的なエピソードをたくさん聞かせていただき、自分がうけもっている、うけもっていた子と重ねながら考えることができた。ありがとうございました。



・楽しかったの一言です。自分が今、実践していることが今日の話で出てきて、少し安心しました。

また、これまでの教え子のことを想起しながら、考えさせられることもたくさんありました。特に「子ども理解」できていると思ひ込み、いざ考えてみると表面的なことが多々あったと思ひ返す時間となりました。夏明けからの実践をまた改めないといけなと思ひました。本日はありがとうございました。

・学級担任として、もっともっと子どもの話を聞かないといけな。人と人として、子どもの思いを交流しないと思ひました。いつも、いつの間にか忘れてしまっている大切なこと、改めて感じる事ができました。もっと子どもを大事にしないと、頭ではわかっているつもりがいつの間にか雑に、えらそうになっている自分をふり返ることができました。

2学期からもう一度、人と人として、子どもたちと向き合うことを大切にしたいと思ひます。

・ユーモア交じりのとても楽しい講義をお聞かせいただき、ありがとうございました。具体的な事例もたくさん出していただき、重なる部分もありました。子どもの良さに目を向けることはわかっているもついつい悪いところに目が行き、注意している場面が多かったことに気づかされました。それと同時に、まだまだ子どもたちのことを知れていない、寄り添えていないことにも気づくことができました。

この夏休みにもう一度初心に立ち返り、「子どもの幸せ」のために何ができるか考えていきたいと思ひます。

・マジョリティの意識と問題。問題はしょうがいがあるその子にあるのではなく、まわりに問題がある等、具体的な体験に基づいたお話、心にしみわたりました。ありがとうございました。

・不登校の子どもに関して、教室に向くようになるきっかけが、最初に「分かる」ということが重要であるということは、本当にそうだと思います。このことから可能性が広がっていくと思ひます。

・ご自身の経験をもとにお話くださったので、イメージが持ちやすかったです。自分自身の行ってきたことと一致するところは、自身の取り組みに対し自信をもつことができ、失敗談では、自身もハツとするところがありました。

・ネガティブなものだととらえがちな「人権」について、ユーモアなどを交えながら話をさせていただき、とても分かりやすく学ぶことができました。明石さんの具体的なエピソードが、自分の学級ともリンクしており、詳しく知れました。

人権を確かなものにするために、子どもたちにはたくさん「出会い」を大切にしてほしいと思ひました。

・明石さんのお話をベースに、後半は部会ごとに「やってみよ」を交流できて大変良かったです。「やってみよ」と「やってみよ」がつつながら、充実した時間となりました。夏休み明けからの実践がより厚みをもってとりくめると実感しました。

